115　　B

◎ **指示があるまで開かないこと。**

（令和 4 年 1 月 29 日　13 時 45 分 ～ 16 時 00 分）

注　意　事　項

1. 試験問題の数は 90 問で解答時間は正味 2 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

⑴ （例 1 ）の問題では a から e までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を 1 つ選び答案用紙に記入すること。なお、（例 1 ）の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

（例 1 ）**201**　歯科医業が行えるのはどれか。1 つ選べ。

a　合格発表日以降

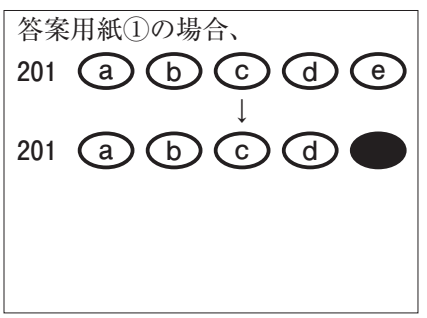
b　合格証書受領日以降

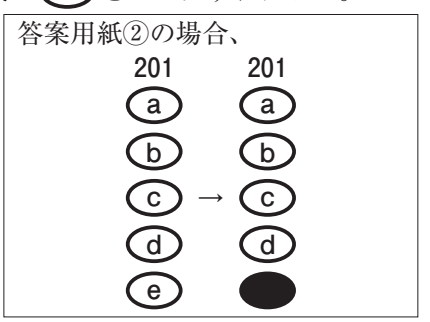
c　免許申請日以降

d　臨床研修開始日以降

e　歯科医籍登録日以降

（例 1 ）の正解は「 e 」であるから答案用紙の (e) をマークすればよい。



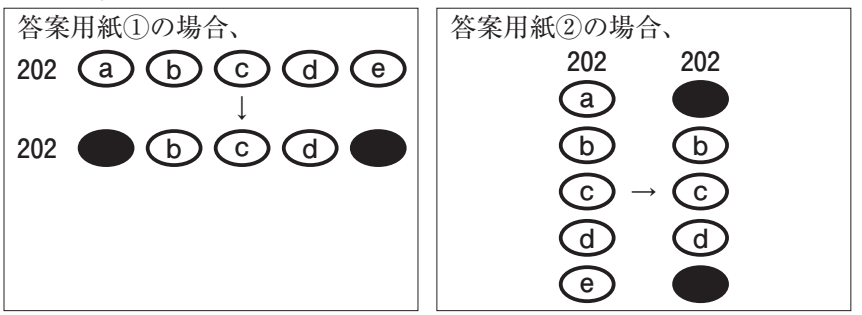


(2) (例２)の問題ではａからｅまでの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を２つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例２)の質問には１つ又は３つ以上解答した場合は誤りとする。

(例２) **202**　歯科医籍訂正の申請が必要なのはどれか。**２つ選べ**。

ａ　氏名変更時
ｂ　勤務先変更時
ｃ　住所地変更時
ｄ　診療所開設時
ｅ　本籍地都道府県変更時

(例２)の正解は「ａ」と「ｅ」であるから答案用紙の (a) と (e) をマークすればよい。

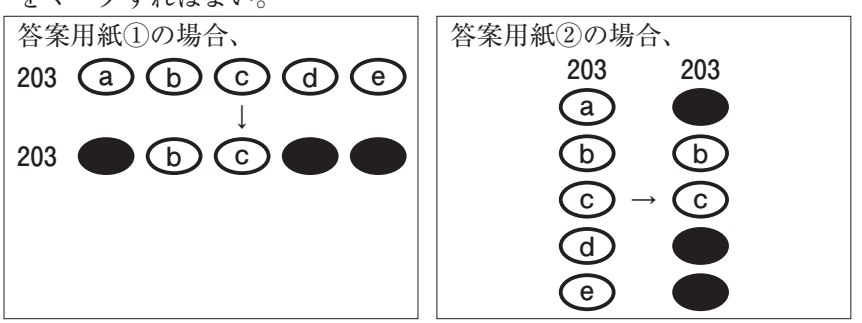


(3) (例３)の問題ではａからｅまでの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を３つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例３)の質問には２つ以下又は４つ以上解答した場合は誤りとする。

(例３) **203**　歯科医籍の登録事項はどれか。**３つ選べ**。

ａ　氏　名
ｂ　勤務先
ｃ　住所地
ｄ　生年月日
ｅ　本籍地都道府県

(例３)の正解は「ａ」と「ｄ」と「ｅ」であるから答案用紙の (a) と (d) と (e) をマークすればよい。

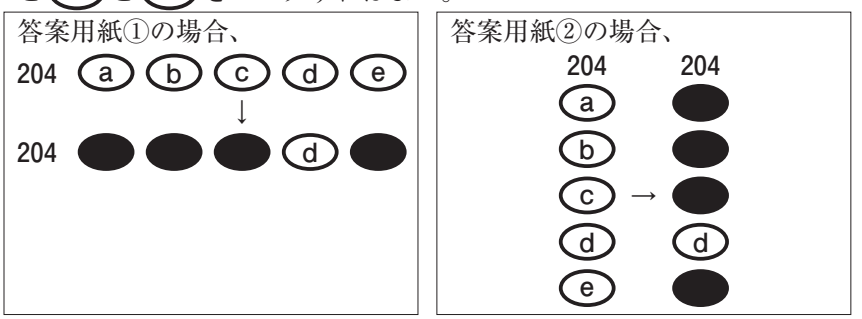


⑷ （例４）の問題ではａからｅまでの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を４つ選び答案用紙に記入すること。なお、（例４）の質問には３つ以下又は５つ解答した場合は誤りとする。

（例４）**204**　医療法に基づき広告可能な診療科名はどれか。**４つ選べ**。

ａ　歯　科
ｂ　矯正歯科
ｃ　小児歯科
ｄ　審美歯科
ｅ　歯科口腔外科

（例４）の正解は「ａ」と「ｂ」と「ｃ」と「ｅ」であるから答案用紙の ⓐ と ⓑ と ⓒ と ⓔ をマークすればよい。



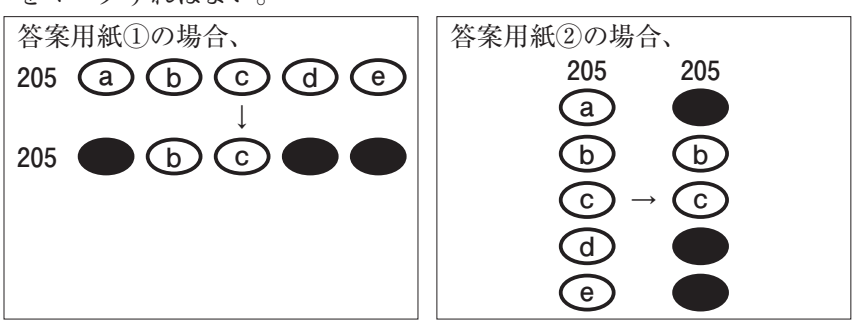
⑸ （例５）の問題では問題ごとに正答数が異なるので、それぞれに適した選択肢をすべて選び答案用紙に記入すること。

例えば、質問に適した選択肢の数が３つである場合は、２つ以下又は４つ以上解答した場合は誤りとする。

（例５）**205**　医療法に基づく医療計画の対象となる疾病はどれか。**すべて選べ**。

ａ　が　ん
ｂ　肺　炎
ｃ　肝疾患
ｄ　脳卒中
ｅ　精神疾患

（例５）の正解は「ａ」と「ｄ」と「ｅ」であるから答案用紙の ⓐ と ⓓ と ⓔ をマークすればよい。

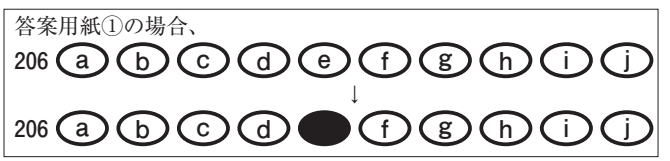


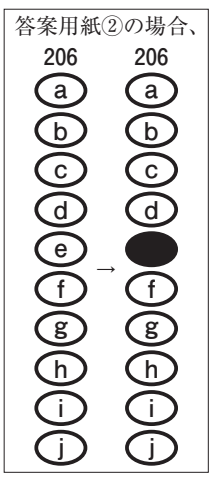
(6)　選択肢が 6 つ以上ある問題については質問に適した選択肢を 1 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 6)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 6) **206**　平成 30 年医師・歯科医師・薬剤師調査で人口 10 万人当たりの歯科医師数が最も少ないのはどれか。1 つ選べ。

a　北海道
b　青森県
c　茨城県
d　埼玉県
e　滋賀県
f　和歌山県
g　鳥取県
h　徳島県
i　佐賀県
j　沖縄県

(例 6)の正解は「 e 」であるから答案用紙の (e) をマークすればよい。





(7)　順序問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な選択肢をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例7)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合や同じ選択肢を複数回使用した場合は誤りとする。

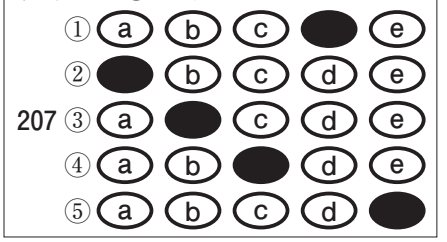
(例7) **207**　これから地域歯科保健活動を実施する予定である。
活動内容を実施の順番に並べよ。

解答：①→②→③→④→⑤

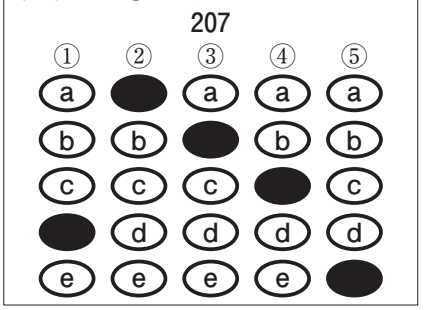
a　解　析
b　計　画
c　実　施
d　調　査
e　評　価

(例7)の正解は①が「d」、②が「a」、③が「b」、④が「c」、⑤が「e」であるから①は答案用紙のdを、②はaを、③はbを、④はcを、⑤はeをそれぞれマークすればよい。

答案用紙①の場合、



答案用紙②の場合、



(8) 計算問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例8)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例8) **208** 中学校1年生100名の学校歯科健康診断の集計結果を表に示す。

記号(歯式)	計(歯数)
／	2,430
C	40
CO	35
○	75
△	70

DMF歯率を求めよ。

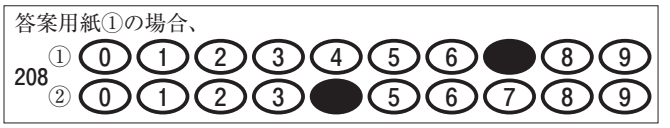
ただし、小数点以下第2位を四捨五入すること。

解答：①.②%

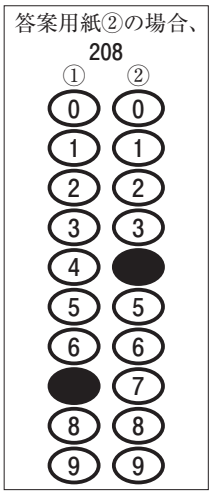
①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

（例８）の正解は「74」であるから①は答案用紙の (7) を、②は (4) をそれぞれマークすればよい。

答案用紙①の場合、



答案用紙②の場合、



1 地域保健法で定められている市町村保健センターの業務はどれか。1つ選べ。

a　要介護の認定

b　在宅医療の実施

c　市町村健康増進計画の策定

d　住民からの健康相談への対応

e　食品衛生についての飲食店への指導

2 健康格差で正しいのはどれか。1つ選べ。

a　国民皆保険制度は格差を拡大する。

b　平均寿命と健康寿命の差を意味する。

c　高額な医療の推進により格差が縮小する。

d　格差縮小は健康日本21(第二次)の目標である。

e　ポピュレーションアプローチは格差を拡大する。

3 病院における院内感染対策のための委員会の開催を規定しているのはどれか。1つ選べ。

a　医療法

b　健康増進法

c　廃棄物の処理及び清掃に関する法律

d　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

e　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

4 骨粗鬆症が高齢女性に起きやすいことに関与するのはどれか。1つ選べ。

a　ガストリン

b　メラトニン

c　エストロゲン

d　バソプレシン

e　テストステロン

5 全身麻酔中の呼吸状態の評価に用いるのはどれか。1つ選べ。

a　血圧計

b　カプノメータ

c　筋弛緩モニタ

d　経食道心エコー

e　BIS〈Bispectral index〉モニタ

6 唾液腺腺房細胞からタンパク質の分泌を促進するのはどれか。1つ選べ。

a　ドパミン

b　セロトニン

c　ヒスタミン

d　アセチルコリン

e　ノルアドレナリン

7 訪問歯科診療で診察時に用いる器具の写真(**別冊**No. **1**)を別に示す。

確認できるのはどれか。1つ選べ。

a　声　帯

b　顎下腺

c　咽頭扁桃

d　口蓋扁桃

e　梨状陥凹

別　冊

No. **1**

8 男性に多くみられるのはどれか。1つ選べ。

a　痛　風

b　Basedow 病

c　関節リウマチ

d　Sjögren 症候群

e　全身性エリテマトーデス

9 機能を獲得するのに学習が必須なのはどれか。1つ選べ。

a　咳

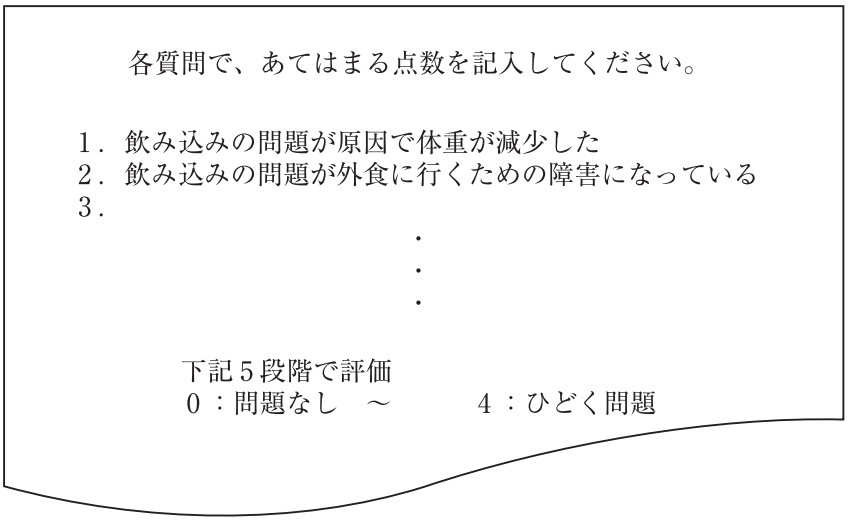
b　嘔　吐

c　吸　啜

d　瞬　目

e　発　語

10 ある検査の質問項目を図に示す。



この検査はどれか。1つ選べ。

a　MMSE

b　HDS-R

c　GOHAI

d　EAT-10

e　フードテスト

11 顎関節症のクリック音について正しいのはどれか。1つ選べ。

a　関節円板の穿孔が原因である。

b　患者は「ザラザラ」という言葉で表現する。

c　音がしなければ関節円板の位置は正常である。

d　転位した関節円板が復位するときに発生する。

e　相反性クリックは関節結節を越えるときに発生する。

12 プロスタグランジンの前駆体はどれか。1つ選べ。

a　オレイン酸

b　アラキドン酸

c　ステアリン酸

d　ミリスチン酸

e　ドコサヘキサエン酸

13 歯周病の細菌検査において最も検出感度が高いのはどれか。1つ選べ。

a　培養法

b　PCR 法

c　特異抗体法

d　酵素活性測定法

e　DNA プローブ法

14 結核菌を発見したのはどれか。1つ選べ。

a　R. Koch

b　E. Jenner

c　L. Pasteur

d　北里柴三郎

e　A. Fleming

15　電気的除細動の適応はどれか。1つ選べ。

a　心静止

b　上室性期外収縮

c　無脈性心室頻拍

d　無脈性電気活動

e　完全房室ブロック

16　組織加重〈荷重〉係数(国際放射線防護委員会 2007 年勧告)が最も小さいのはどれか。1つ選べ。

a　肺

b　乳　房

c　生殖腺

d　唾液腺

e　赤色骨髄

17　歯髄壊死した歯の変色の原因となるのはどれか。1つ選べ。

a　メラニン

b　ビリルビン

c　ヘモグロビン

d　ポルフィリン

e　リポフスチン

18 口腔領域への転移性腫瘍で最も頻度の高い部位はどれか。1つ選べ。

a　舌

b　下顎骨

c　顎下腺

d　頬粘膜

e　上顎骨

19 急性化膿性根尖性歯周炎に対する第一選択経口抗菌薬はどれか。1つ選べ。

a　オフロキサシン

b　クラリスロマイシン

c　アモキシシリン水和物

d　アジスロマイシン水和物

e　セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物

20 齲蝕象牙質の生活反応層で正しいのはどれか。1つ選べ。

a　再石灰化不能

b　齲蝕検知液への可染性

c　象牙芽細胞突起の消失

d　細管内の顆粒状結晶の沈着

e　コラーゲン線維の横紋構造の消失

21　55 歳の男性。右側での咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、下顎右側第一大臼歯の欠損に対してブリッジによる補綴処置を行うこととした。補綴装置装着前の口腔内写真(**別冊**No. **2A**)と補綴装置の写真(**別冊**No. **2B**)を別に示す。

接着性レジンセメントで装着する際、補綴装置内面に用いるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　クエン酸

b　アルミナ粒子

c　フッ化水素酸

d　MDP 含有プライマー

e　シランカップリング剤

別　冊
No. **2　A、B**

22　乳児期にみられるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　先天歯

b　上皮真珠

c　低位乳歯

d　萌出性腐骨

e　タウロドント

23　癌治療に用いる外部照射装置(**別冊**No. **3**)を別に示す。

使用できるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　電子線

b　陽子線

c　中性子線

d　アルファ線

e　エックス線

別　冊
No. **3**

24　72 歳の女性。上下顎全部床義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。義歯は 5 年前に製作したという。診察の結果、全部床義歯を新製することとした。通法に従い咬合採得後、半調節性咬合器に模型を装着した。装着後、ある下顎位における咬合記録を採得し、咬合器を調節することとした。調節のための咬合記録時の写真(**別冊**No. **4A**)と半調節性咬合器の写真(**別冊**No. **4B**)を別に示す。

この記録を用いて調節するのはどれか。**2 つ選べ**。

a　ア

b　イ

c　ウ

d　エ

e　オ

別　冊
No. **4　A、B**

25　50歳の男性。右側顎下部の腫脹を主訴として来院した。1か月前から徐々に増大してきたという。右側顎下部皮膚に発赤は認めない。CT(**別冊**No. **5A**)、MRI(**別冊**No. **5B**)、FDG-PET/CT(**別冊**No. **5C**)及び生検時のH-E染色病理組織像(**別冊**No. **5D**)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

a　結　核

b　神経鞘腫

c　放線菌症

d　悪性リンパ腫

e　IgG4関連疾患

別　冊
No. **5**　**A**、**B**、**C**、**D**

26　Saxonテストで用いるのはどれか。1つ選べ。

a　水

b　ガ　ム

c　濾　紙

d　ガーゼ

e　グミゼリー

27　骨形成線維腫に対し下顎区域切除術を行うこととした。初診時のエックス線画像(**別冊**No. **6**)を別に示す。

切除時に下顎骨から剝離するのはどれか。**2 つ選べ**。

a　咬　筋

b　顎舌骨筋

c　顎二腹筋

d　外側翼突筋

e　オトガイ舌骨筋

別　冊
No. **6**

28　26 歳の女性。上下顎の突出感を主訴として来院した。診断をした結果、術前矯正治療後に顎矯正手術を行うこととした。術前と術中の口腔内写真(**別冊**No. **7**)を別に示す。

手術によって変化するのはどれか。**3 つ選べ**。

a　歯　数

b　下顎歯列弓幅径

c　上顎歯列弓長径

d　顎舌骨筋の走行状態

e　咬合平面の水平的傾斜

別　冊
No. **7**

29　両側性唇顎口蓋裂の女児の顔貌写真(**別冊**No. **8**)を別に示す。生下時から下唇に矢印で示す異常がみられるという。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

a　外歯瘻

b　下唇瘻

c　正中唇裂

d　粘液嚢胞

e　リンパ管腫

別　冊
No. **8**

30　障害者が定期的に歯科検診を受けるのに必要な施策を講じる根拠はどれか。1つ選べ。

a　障害者虐待防止法

b　発達障害者支援法

c　健康日本21(第二次)

d　健やか親子21(第2次)

e　歯科口腔保健の推進に関する法律

次の文により 31、32 の問いに答えよ。

58 歳の女性。右側での咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、上顎右側にインプラント義歯による補綴装置を製作することとした。

31 印象採得前に行った操作の写真(**別冊**No. **9**)を別に示す。

この操作の目的はどれか。**2 つ選べ**。

a　印象材の重合促進

b　歯肉形態の再現性向上

c　着脱時の平行性の確認

d　印象用コーピングの形態修正

e　印象用コーピングの位置関係の再現性向上

別　冊
No. **9**

32 インプラント上部構造製作のための印象採得を行った。口腔内から撤去した印象体の写真(**別冊**No. **10 A**、**B**)を別に示す。

次に行う処置はどれか。1 つ選べ。

a　石膏注入

b　ボクシング

c　ガム材の注入

d　印象用コーピングの撤去

e　インプラントアナログの連結

別　冊
No. **10　A**、**B**

33 PAR Index を用いて行うのはどれか。**2 つ選べ**。

a　顔面非対称の評価

b　審美感覚の数値化

c　矯正歯科治療の成果の判定

d　不正咬合の重症度の数値化

e　上下顎骨の近遠心的関係の評価

34 末梢神経の髄鞘を形成する細胞はどれか。1 つ選べ。

a　ゴルジ細胞

b　シュワン細胞

c　ミクログリア

d　アストロサイト

e　オリゴデンドロサイト

35 39 歳の男性。上顎左側第二小臼歯の違和感を主訴として来院した。1 年前から時々自覚していたがそのままにしていたという。歯髄電気診に生活反応を示した。初診時に異なる方向から撮影したエックス線画像(**別冊**No. **11**)を別に示す。

適切な対応はどれか。1 つ選べ。

a　経過観察

b　暫間的間接覆髄

c　生活歯髄切断

d　抜　髄

e　抜　歯

別　冊

No. **11**

36　下顎第一大臼歯に部分被覆冠を装着することとした。口腔内スキャナーを使用し、上下顎歯列印象採得後に行った治療過程のコンピュータ画面上の画像(**別冊**No. **12**)を別に示す。

この過程で撮影したのはどれか。1つ選べ。

a　前歯部唇側面

b　右側臼歯部頬側面

c　左側臼歯部頬側面

d　右側臼歯部咬合面

e　左側臼歯部咬合面

別　冊
No. **12**

37　32歳の女性。上顎前歯部の空隙による審美不良を主訴として来院した。転居予定があり、本日中の審美的改善を希望している。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **13A**)とエックス線画像(**別冊**No. **13B**)を別に示す。

2に対する適切な処置はどれか。1つ選べ。

a　陶材焼付冠の装着

b　レジンコーティング

c　硬質レジン前装冠の装着

d　コンポジットレジン修復

e　ジルコニアクラウンの装着

別　冊
No. **13　A、B**

38　上顎左側第二大臼歯にある装置を付与した義歯の写真(**別冊**No. **14A**)と装着時の口腔内写真(**別冊**No. **14B**)を別に示す。

この装置の目的はどれか。**2つ選べ**。

a　咬合の挙上

b　緩圧効果の増大

c　義歯の破折防止

d　咬合平面の修正

e　呼吸機能の改善

別　冊
No. **14　A、B**

39　医療計画で正しいのはどれか。**2つ選べ**。

a　医療圏を設定する。

b　市町村が策定する。

c　健康増進法で規定されている。

d　適正な感染症病床数を定める。

e　公的医療保険制度の維持を目的とする。

40　生理的年齢の評価に用いるのはどれか。**3つ選べ**。

a　歯　齢

b　骨年齢

c　暦年齢

d　精神年齢

e　第二次性徴の発現年齢

41　1型糖尿病の特徴はどれか。**2つ選べ**。

a　易感染性である。

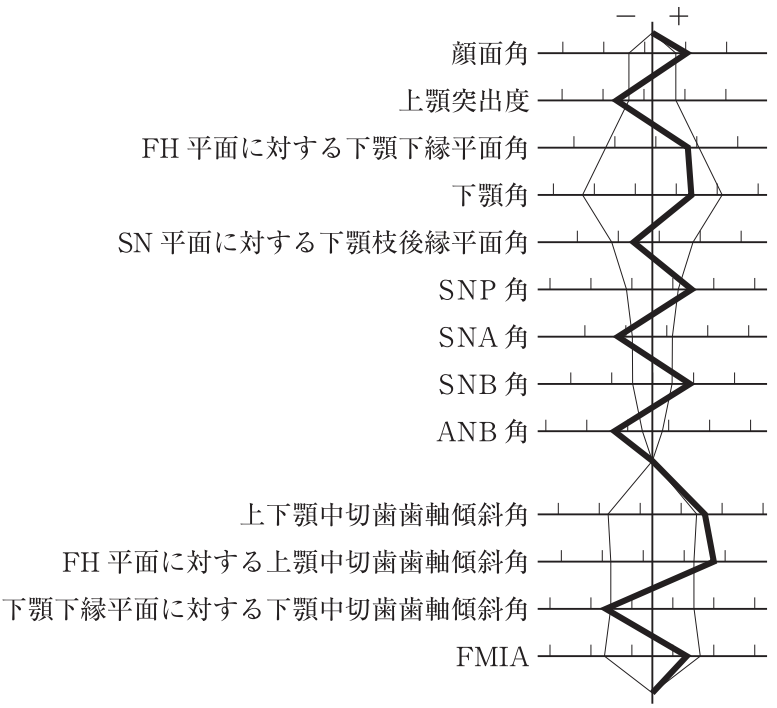
b　家族性の発症が多い。

c　肥満者の発症が多い。

d　呼吸性アシドーシスが頻発する。

e　インスリン自己注射が必要である。

42　23歳の男性。下顎の前突感を主訴として来院した。診断をした結果、外科的矯正治療を行うこととした。初診時の顔面写真(**別冊**No. **15A**)、口腔内写真(**別冊**No. **15B**)及びエックス線画像(**別冊**No. **15C**)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



抜歯部位(智歯を除く)と顎矯正手術の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

	抜歯部位	上　顎	下　顎
a	$\frac{4\|4}{}$	前歯部歯槽骨切り術	下顎枝矢状分割術
b	$\frac{4\|4}{}$	Le Fort I 型骨切り術	下顎枝矢状分割術
c	$\frac{4\|4}{4\|4}$	前歯部歯槽骨切り術	前歯部歯槽骨切り術
d	$\frac{4\|4}{4\|4}$	Le Fort I 型骨切り術	前歯部歯槽骨切り術
e	$\frac{4\|4}{4\|4}$	Le Fort I 型骨切り術	下顎枝垂直骨切り術

別　冊
No. **15　A、B、C**

43　口腔癌患者の造影CT(**別冊**No. **16**)を別に示す。

矢印で示す病変の触診所見はどれか。**2つ選べ**。

a　硬　結

b　熱　感

c　波　動

d　癒　着

e　捏形性

別　冊
No. **16**

44　上顎左側第二小臼歯の実質欠損部に対し補修修復を行った。術前と術後の口腔内写真(**別冊**No. **17**)を別に示す。

治療に使用したのはどれか。**すべて選べ**。

a　ウェッジ

b　VBATDT

c　ポリアクリル酸

d　ラバーダムシート

e　研磨用ストリップス

別　冊
No. **17**

45 咬合器に模型を装着する際に使用する器具の写真(**別冊**No. **18**)を別に示す。
使用目的はどれか。**2 つ選べ**。

a　咬合平面の修正

b　フェイスボウの固定

c　模型の付着強度の向上

d　義歯重合後の容易な咬合器再装着

e　チェックバイト法による顆路調節

別　冊
No. **18**

46 チタン製インプラント材料の表面処理はどれか。**4 つ選べ**。

a　時効硬化

b　陽極酸化

c　酸エッチング

d　サンドブラスト

e　ハイドロキシアパタイトコーティング

47　42 歳の男性。顔の違和感を主訴として来院した。今朝洗顔時に気付いたという。既往歴に特記事項はない。初診時の眉挙上時と口唇突出時の顔貌写真(**別冊**No. **19** **A**、**B**)を別に示す。

適切な治療法はどれか。**2 つ選べ**。

a　冷罨法

b　NSAIDs の投与

c　ビタミン B_{12} の投与

d　カルバマゼピンの投与

e　副腎皮質ステロイド薬の投与

別　冊
No. **19**　**A**、**B**

48　疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。**3 つ選べ**。

a　骨形成不全症 ―――――― 易骨折性

b　軟骨無形成症 ―――――― 巨　舌

c　外胚葉異形成症 ―――――― 皮膚乾燥

d　先天性表皮水疱症 ―――――― 開口障害

e　鎖骨頭蓋骨異形成症 ―――――― 体温調節困難

49　下顎左側臼歯部の腫脹を有する患者の初診時のパノラマエックス線画像(**別冊**No. **20 A**)、頭部後前方向撮影エックス線画像(**別冊**No. **20 B**)及びその後追加で撮影した歯科用コーンビーム CT(**別冊**No. **20 C**)を別に示す。

歯科用コーンビーム CT で新たに得られた所見はどれか。1つ選べ。

a　病変部の辺縁不整

b　左側下顎管の下方圧排

c　左側下顎管の病変舌側部通過

d　左側下顎枝部の頬舌的骨膨隆

e　左側下顎枝前縁の皮質骨菲薄化

別　冊
No. **20**　**A**、**B**、**C**

50　8歳の女児。上顎前歯部の精査を希望して来院した。半年前に⎸A が脱落し後継永久歯が萌出してきた。1か月前に A⎹が脱落し萌出してきた歯の形態の異常に気付いたという。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **21 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **21 B**)を別に示す。

まず行うのはどれか。1つ選べ。

a　アの抜歯

b　アの形態修正

c　イの近心移動

d　ウの抜歯

e　エの抜歯

別　冊
No. **21**　**A**、**B**

51　17歳の男子。下顎右側臼歯部の腫脹を主訴として来院した。5か月前に気付いたが痛みがないためそのままにしていたところ、徐々に腫脹が増大してきたという。診察の結果、顎骨保存療法を行うこととした。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **22A**)、エックス線画像(**別冊**No. **22B**)、CT(**別冊**No. **22C**)及び生検時のH-E染色病理組織像(**別冊**No. **22D**)を別に示す。

術前に説明が必要なのはどれか。**2つ選べ**。

a　顔貌の変形

b　再発の可能性

c　下唇の運動障害

d　埋伏智歯の萌出誘導

e　オトガイ部の知覚異常

別　冊

No. **22**　**A**、**B**、**C**、**D**

52　SDGs〈Sustainable Development Goals〉について正しいのはどれか。**2つ選べ**。

a　主要7か国首脳会議で採択された。

b　2050年までの達成を目指している。

c　健康と福祉を焦点とする目標がある。

d　目標とそれを達成するためのターゲットからなる。

e　未達成の項目はMDGs〈Millennium Development Goals〉に引き継がれる。

53　スタビライゼーションスプリントの調整を行うこととした。中心咬合位における咬合接触部位を印記した写真(**別冊**No. **23**)を別に示す。

まず削合すべき部位はどれか。**2つ選べ**。

a　ア

b　イ

c　ウ

d　エ

e　オ

別　冊
No. **23**

54　76歳の女性。左側口底部の腫脹を主訴として来院した。かかりつけ歯科医にて指摘されたという。触診で粘膜下に境界明瞭なやや硬い腫瘤を触れる。舌下小丘からの唾液の流出は良好である。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **24A**)、造影CT(**別冊**No. **24B**)、MRI脂肪抑制T2強調像(**別冊**No. **24C**)及び生検時のH-E染色病理組織像(**別冊**No. **24D**)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

a　多形腺腫

b　粘表皮癌

c　ラヌーラ

d　類皮嚢胞

e　腺様嚢胞癌

別　冊
No. **24　A、B、C、D**

55 Ziehl-Neelsen 染色で検出されるのはどれか。1 つ選べ。

a *Escherichia coli*

b *Klebsiella pneumoniae*

c *Streptococcus pyogenes*

d *Pseudomonas aeruginosa*

e *Mycobacterium tuberculosis*

56 歯周形成手術[歯肉歯槽粘膜形成術]はどれか。**2 つ選べ**。

a 骨移植術

b 歯肉切除術

c 小帯切除術

d 歯槽骨整形術

e 結合組織移植術

57 口腔機能低下症が疑われる患者に対して行う検査はどれか。**3 つ選べ**。

a 舌圧検査

b 顎運動検査

c 咬合力検査

d パラトグラム検査

e オーラルディアドコキネシス

58　47 歳の女性。上顎左側小臼歯部の口腔清掃時の違和感を主訴として来院した。検査の結果、⌊4 にメタルインレー修復を行うこととした。患者は金属修復に同意しているが、目立たないようにと希望している。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **25 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **25 B**)を別に示す。

窩洞形成で正しいのはどれか。1 つ選べ。

a　鳩尾形を付与する。

b　窩洞を頬側に開放する。

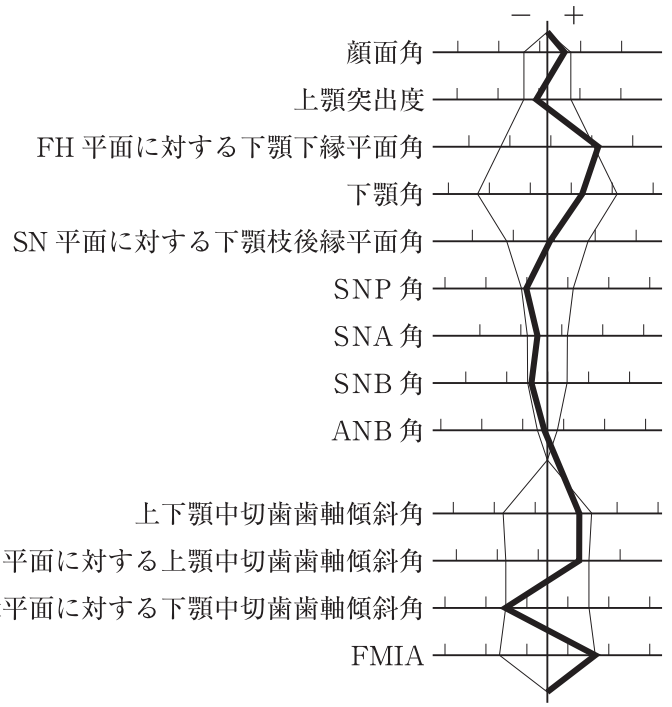
c　スライス式窩洞とする。

d　凸隅角部を曲面にする。

e　窩縁にラウンドベベルを付与する。

別　冊
No. **25**　**A**、**B**

59　19歳の女性。前歯で食べ物がうまく噛めないことを主訴として来院した。初診時の顔面写真(**別冊**No. **26A**)、口腔内写真(**別冊**No. **26B**)及びエックス線画像(**別冊**No. **26C**)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



正しい所見はどれか。**すべて選べ**。

a　凸顔型

b　骨格性Ⅱ級

c　ローアングル

d　$\overline{5|5}$ の先天欠如

e　正のオーバーバイト

別　冊
No. **26　A、B、C**

60　70歳の女性。上顎左側臼歯部のブリッジの脱離を主訴として来院した。診察の結果、脱離した③④⑤⑥⑦のブリッジは不適合のため新製することとした。完成したブリッジの写真(**別冊**No. **27A**)と試適時の口腔内写真(**別冊**No. **27B**)を別に示す。

Bの操作の次に行うのはどれか。1つ選べ。

a　仮　着
b　咬合調整
c　適合確認
d　プライマー処理
e　リムーバルノブの除去

別　冊
No. **27**　**A**、**B**

61　筋緊張が強く、誤嚥性肺炎を繰り返している施設入居の脳性麻痺患者に対して口腔衛生管理を行うことになった。抗てんかん薬を幼少期から服用しているという。初診時の最大開口時の口腔内写真(**別冊**No. **28**)を別に示す。

用意すべきなのはどれか。**2つ選べ**。

a　含嗽剤
b　吸引器
c　保湿剤
d　開口保持器
e　超音波スケーラー

別　冊
No. **28**

62　48 歳の女性。上顎右側大臼歯の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。患者の希望により審美性に配慮したブリッジによる補綴治療を行うこととした。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **29**)を別に示す。

適切な支台装置はどれか。**2 つ選べ**。

a　ラミネートベニア

b　ジルコニアクラウン

c　コンポジットレジンクラウン

d　プロキシマルハーフクラウン

e　接着ブリッジ D 字型リテーナー

別　冊
No. **29**

63　声帯靱帯が付着するのはどれか。**2 つ選べ**。

a　舌　骨

b　甲状軟骨

c　披裂軟骨

d　輪状軟骨

e　喉頭蓋軟骨

64　根管充塡用シーラーで、酸化亜鉛ユージノール系と比較してレジン系が優れているのはどれか。**3 つ選べ**。

a　除去性

b　接着性

c　機械的強度

d　化学的安定性

e　エックス線造影性

65　中咽頭癌患者への周術期口腔機能管理の目的はどれか。**3 つ選べ**。

a　手術時間の短縮

b　入院期間の短縮

c　呼吸器感染症の予防

d　手術時出血量の軽減

e　口腔粘膜炎重症化の予防

66　口腔粘膜の扁平苔癬様症状と両側掌の膿疱を呈する患者に行う検査はどれか。1 つ選べ。

a　パッチテスト

b　トロンボテスト

c　プリックテスト

d　スクラッチテスト

e　ローズベンガルテスト

67　滅菌・消毒法とその対象について正しい組合せはどれか。1 つ選べ。

a　煮　沸 ―――――――― 義　歯

b　オートクレーブ ―――――― 探　針

c　消毒用エタノール ―――――― 口腔粘膜

d　グルタールアルデヒド ――― 根　管

e　パラホルムアルデヒド ――― 手　指

68　10歳の男児の口腔内写真(**別冊**No. **30 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **30 B**)を別に示す。

埋伏歯の牽引にあたり、抜去すべき歯はどれか。1つ選べ。

a　$\underline{6|}$

b　$\underline{2|}$

c　$\underline{|E}$

d　$\overline{E|}$

e　$\overline{6|}$

別　冊
No. **30　A、B**

69　成人に対するフッ化物配合歯磨剤の使用に関する指導内容で適切なのはどれか。**2つ選べ**。

a　フッ化物濃度が高いものを選ぶ。

b　使用量は刷毛部上に米粒大とする。

c　ブラッシング途中で複数回吐出する。

d　ブラッシング終了時に多めに洗口する。

e　ブラッシング直後は飲食しない。

70　38 歳の女性。下顎左側第一小臼歯の動揺を主訴として来院した。1 年前から自覚していたがそのままにしていたという。歯周基本治療後の再評価の結果、歯周外科治療を行うこととした。初診時の口腔内写真（**別冊**No. **31 A**）とエックス線画像（**別冊**No. **31 B**）を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌　側*	4	3	⑥	④	3	4	4	3	4
歯　種	⌈4			⌈5			⌈6		
頬　側*	4	3	⑦	④	3	4	4	3	4
動揺度**	2			0			0		

*　：プロービング深さ（mm）

○印：プロービング時の出血

**　：Miller の判定基準

術中に行う処置はどれか。**2 つ選べ**。

a　外斜切開

b　歯肉整形

c　歯肉弁根尖側移動

d　FGF-2 製剤の応用

e　スケーリング・ルートプレーニング

別　冊
No. **31　A、B**

71　70 歳の男性。嚥下機能評価のため往診を依頼された。2 日前に就寝後 2 時間で息苦しくなって目が覚め、ベッド上で起き上がると楽になったという。訪問時、意識は清明で、呼吸困難、喘鳴、咳嗽を呈した。心音聴診で雑音を認め、胸部聴診で両側呼吸音の低下はなく、両下肺に水泡音を聴取した。直ちに救急車を要請した。その時の生体モニタの画面(**別冊**No. **32**)を別に示す。

救急要請した理由はどれか。1 つ選べ。

a　左心不全

b　自然気胸

c　心室頻拍

d　過換気症候群

e　心原性ショック

別　冊
No. **32**

72　流涎がみられるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　AIDS

b　腎不全

c　Parkinson 病

d　顎関節前方脱臼

e　流行性耳下腺炎

73　ある装置の写真(**別冊**No. **33**)を別に示す。

両側シース挿入時における大臼歯の移動様式の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

	右　側		左　側
a	近心回転	————	近心移動
b	遠心回転	————	遠心移動
c	近心移動	————	近心回転
d	遠心移動	————	遠心回転
e	遠心移動	————	近心移動

別　冊
No. **33**

74　化学的プラークコントロールに用いるのはどれか。**3つ選べ**。

a　フラボノイド
b　塩化リゾチーム
c　デキストラナーゼ
d　エッセンシャルオイル
e　セチルピリジニウム塩化物

75　エナメル質の表層下脱灰について正しいのはどれか。1つ選べ。

a　齲窩の形成がある。
b　病変部は透明性が高い。
c　酸産生菌の侵入によって生じる。
d　表層 10-20 μm は再石灰化している。
e　病変部はエナメルタンパクが蓄積している。

76　バーの写真(**別冊**No. **34**)を別に示す。

用途はどれか。1つ選べ。

a　齲蝕除去

b　髄室開拡

c　根管口明示

d　メタルインレーの除去

e　コンポジットレジンの形態修正

別　冊
No. **34**

77　細胞質がH-E染色で好酸性を示すのはどれか。**2つ選べ**。

a　泡沫細胞

b　母斑細胞

c　オンコサイト

d　粘液産生細胞

e　幻影細胞〈ghost cell〉

78　顎関節症の誘因となるのはどれか。**3つ選べ**。

a　喫　煙

b　頬　杖

c　過開口

d　口呼吸

e　ブラキシズム

79　無歯顎様顔貌の特徴はどれか。**3 つ選べ**。

a　口角の下垂

b　人中の明瞭化

c　鼻唇溝の消失

d　下顔面高の短縮

e　オトガイ部の突出

80　53 歳の女性。上顎左側前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1 か月前から歯肉が腫れてきたという。|1 2 に自発痛はないが、打診痛と根尖部歯肉の圧痛がある。診察の結果、|1 2 に歯根尖切除術を行うこととした。初診時のエックス線画像(**別冊**No. **35 A**)と術中の口腔内写真(**別冊**No. **35 B**)を別に示す。

この後、縫合までに使用するのはどれか。**3 つ選べ**。

a　歯周包帯

b　骨膜剝離子

c　レトロチップ

d　EBA セメント

e　ダイヤモンドポイント

別　冊
No. **35　A、B**

81　60歳の女性。上顎左側臼歯部の違和感を主訴として来院した。2年前から自覚していたがそのままにしていたという。診察と検査の結果、慢性歯周炎と診断し歯周基本治療を行った。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **36 A**)とエックス線画像(**別冊** No. **36 B**)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬　側*	2	2	4	⑥	⑨	⑧	3	2	3
歯　種	⌊5			⌊6			⌊7		
口蓋側*	2	3	4	⑤	3	4	3	3	3
動揺度**	0			1			0		

*　：プロービング深さ(mm)

○印：プロービング時の出血

**　：Millerの判定基準

⌊6 に対する治療方針として考えられるのはどれか。**2つ選べ**。

a　抜　歯

b　歯根切除

c　歯根分離

d　トンネリング

e　エナメルマトリックスタンパク質の応用

別　冊
No. **36　A、B**

82　7歳の男児。上顎左側乳中切歯が生え代わらないことを主訴として来院した。A| は6か月前に脱落し、後継永久歯が萌出してきたという。3歳ころに上顎乳前歯部に外傷の既往がある。診察と検査の結果、|A を抜歯することとした。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **37 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **37 B**)を別に示す。

抜歯の根拠はどれか。**2つ選べ**。

a　|2 の萌出遅延

b　|A の齲蝕

c　|A の歯根露出

d　|1 の萌出遅延

e　1| の位置異常

別　冊
No. **37**　**A**、**B**

83　薬物の有害事象として口腔粘膜に難治性潰瘍を生じるのはどれか。1つ選べ。

a　ニフェジピン

b　イトラコナゾール

c　メトトレキサート

d　アセトアミノフェン

e　テトラサイクリン塩酸塩

84　全部床義歯製作過程における仮想咬合平面の設定で基準になるのはどれか。**3つ選べ**。

a　両瞳孔線

b　HIP 平面

c　Bonwill 三角

d　Camper 平面

e　フランクフルト平面

85　79 歳の女性。上顎右側犬歯の咬合痛と口蓋側歯肉の腫脹を主訴として来院した。3 日前から症状を自覚するようになったという。骨粗鬆症のため 1 年前からビタミン D 製剤を服用している。打診痛はあるが自発痛はない。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **38 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **38 B**)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇　側*	3	④	⑧	4	3	3
歯　種	3|			2|		
口蓋側*	3	3	⑧	4	3	3
動揺度**	1			1		

*　：プロービング深さ(mm)

○印：プロービング時の出血

**　：Miller の判定基準

3\| に対する適切な対応はどれか。1 つ選べ。

a　経過観察

b　スケーリング・ルートプレーニング

c　感染根管治療

d　歯根尖切除

e　抜　歯

別　冊
No. **38　A、B**

86 流し込みレジンによる義歯製作で正しいのはどれか。1つ選べ。

a　リン酸塩系埋没材を使用する。

b　加圧重合器で70℃に加温する。

c　粉液比は加熱重合型より小さい。

d　フラスコへの填入は餅状期に行う。

e　混和にエチルアルコールを使用する。

87 行動調整法を用いた歯科治療中の写真(**別冊**No. **39**)を別に示す。

本装置の適用で適切なのはどれか。**すべて選べ**。

a　一時的な使用にとどめる。

b　治療ごとに適用の可否を評価する。

c　本人または代諾者の同意を取得する。

d　痛みを伴う処置を強行してはならない。

e　代替手段がない場合の使用に限定する。

別　冊

No. **39**

88 若年者に好発するのはどれか。**2つ選べ**。

a　白板症

b　類天疱瘡

c　悪性黒色腫

d　線維性異形成症

e　腺腫様歯原性腫瘍

89　61 歳の女性。右側での咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、$\overline{6}$| 相当部にインプラントによる補綴処置を行うこととした。上部構造試適時の口腔内写真（**別冊**No. **40 A**）と装着終了時の口腔内写真（**別冊**No. **40 B**）を別に示す。

この間の処置過程を実施の順番に並べよ。

解答：①→②→③→④→⑤

a　咬合接触調整
b　隣接接触関係の調整
c　軟らかい封鎖材の挿入
d　コンポジットレジンの充塡
e　アバットメントスクリューの締結

別　冊
No. **40**　**A**、**B**

90　21 歳の女性。歯並びが悪いことを主訴として来院した。検査の結果、FMA が 33.0 度、IMPA が 95.0 度、下顎の required arch length は 68.0 mm、available arch length は 69.0 mm であり、Spee 彎曲の深さは 0.0 mm であった。

Total discrepancy を算出せよ。

ただし、FMIA の基準値は 57.0 度とする。なお、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点第 2 位を四捨五入すること。

解答：－ ① . ② mm

①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9